市政の基本方針

１　世界文化自由都市宣言（昭和 53 年 10 月宣言）

「世界文化自由都市宣言」は本市の都市理念（都市の理想像）を明確にしたものであり，昭和 53 年 10 月に，市会の賛同を得て宣言しました。

この宣言は，京都が古い文化遺産と美しい自然景観を保持してきた千年の都であるという過去の栄光のみを誇り，孤立して生きるのではなく，積極的に世界との文化交流を行い，優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市として，世界文化交流の中心となることを目指しています。

２　京都市基本構想（平成 11 年 12 月策定，目標年次　平成 37 年）

「京都市基本構想」は，世界文化自由都市宣言に掲げた都市の理想像を実現するために，21 世紀の京都のまちづくりの方針を理念的に示した長期構想として，平成 11 年 12 月に市会の議決を得て策定した市政の基本方針です。

この構想は，平成 37 年までの市民のくらしやまちづくりを市民の視点から描いたもので，市民と行政との厚い信頼関係を築く中で，「安らぎのあるくらし」と「華やぎのあるまち」の実現を目指しています。

３　はばたけ未来へ！　京（みやこ）プラン（京都市基本計画）
（平成 22 年 12 月策定，目標年次　平成 32 年度）

京都市基本構想を具体化するための第 1 期の基本計画に引き続く第 2 期の計画として，平成 22 年 12 月に市会の議決を得て策定したものであり，平成 23 年度から 10 年間の都市経営の基本となる計画です。

本計画は，単なる「行政計画」ではなく，市民，企業などのさまざまな主体と行政とが夢と希望，危機感と責任を共有し，役割を分担し，共に汗を流して協働する「共汗型計画」です。また，政策分野ごとの基本方針等を示すだけでなく，目指すべき 6 つの京都の未来像と，それを実現するために特に優先的に取り組むべき 11 の重点戦略，さらには政策推進の基盤となる行政経営の大綱を明示するなど，政策の優先順位を明確にし，目標への筋道を示す「戦略的な計画」としています。

４　「はばたけ未来へ！　京（みやこ）プラン」実施計画（第１ステージ）

（平成 24 年 3 月策定，目標年次　平成 27 年度）

「はばたけ未来へ！　京プラン（京都市基本計画）」では，計画に掲げた政策の実効性を確保するための下位計画として，11 の「重点戦略」及び「行政経営の大綱」を推進するための具体的な事業等を示す「実施計画」を策定することとしています。

そのため，京プランの計画期間の前半に当たる平成 24 年度から 27 年度までの 4 年間を計画期間とする「「はばたけ未来へ！　京プラン」実施計画」（第 1 ステージ）を策定し，重点戦略を推進するリーディング・プロジェクトなどの具体的な取組とともに，これと一体となって進めるべき市民参加や情報の公開，さらには財政運営の目標の達成に向けた取組等を推進しました。

５　「京プラン実施計画　第 2 ステージ」

（平成 28 年 3 月策定，目標年次　平成 32 年度）

平成 26 年度に，「はばたけ未来へ！　京プラン」の進捗状況の総括と点検を行うために設置した，有識者・市民などによる「基本計画点検委員会」からの点検結果報告書等を踏まえ，28 年度から 32 年度までを計画期間とする「京プラン実施計画　第 2 ステージ」を策定しました。